

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ジョイーレ石垣 (第2単位)		
○保護者評価実施期間	2026年2月3日		～ 2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2026年2月3日		～ 2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	1
○訪問先施設評価実施期間	2026年2月3日		～ 2026年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	1
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	十分な経験のある専門職が訪問支援に従事している	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性に基づいた情報を相手方に理解しやすい形で提供するようにしている ・訪問支援員同士で情報交換をし、それぞれのケースについて相談しあえる関係にある ・専門職が新しい知見の獲得やスキルアップを意識的に行なっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職としての計画的な研修の受講 ・スキルアップを図るために、余裕がある範囲で事業所内の他の訪問支援員に同行する ・他の事業所との連携協会
2	訪問時ではない時間帯に、情報交換の時間を取って関係期間連携を行なっている	訪問時に短い時間でも担任などと口頭での情報交換をしている	公式LINEを使って、訪問先の困りごとを含む日常的な情報交換が行える体制を整える
3	訪問先との良好な関係が築けている	訪問開始前に制度や事業所の体制や手続きについて説明に行き、その時に対象の利用児の情報交換もしている	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット以外に園・学校のそれぞれに応じた説明文を用意する ・特に学校への説明に使うために、文部科学省が出している通達を持っていける用意をする

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員が不足している	施設基準上、訪問支援に当たることができるスタッフ数が限られている	訪問支援に通所対応のスタッフを同行させ、スタッフ数が増えた時にすぐに訪問支援に当たれる体制を作る
2	訪問支援と通所対応をしている兼務者の訪問回数が増えない	訪問の記録、特にスプシを書くことに時間を取られている	スプシの内容や書き方について整理をして、短時間で作成できるような工夫をする
3	遠隔地への訪問頻度が不十分	石垣市内でも片道1時間弱かかる場所がある。離島であればさらに時間がかかる。	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ園、学校で複数名の利用児を獲得するような働きかけをする ・利用児がいる園、学校の近くの園、学校での利用児を獲得するような働きかけをする

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 ジョイーレ石垣 (第2単位)

公表日 2026年3月31日

利用児童数 11

回収数 7

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4			3		訪問支援の様子についてご説明が不十分なところがあるようです。今後は定期的なご連絡、ご説明をしていきます。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	7					面接の際は個別療育室などを使用し、プライバシーの保護を心がけています。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	7					訪問支援事業の目的についてご理解ありがとうございます。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2	2	1	2		保育所等訪問支援の実施についてご説明が不十分なところがあるようです。ご不明な点がないよう、定期的にご連絡、ご説明していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	6			1		今年度、やっと訪問支援員1名が訪問できるようになりました。次年度は人員を確保してさらに手
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6			1		利用児との関わり方の長い専門職が訪問支援を行っています。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	1		2		保育所等訪問支援の計画についてご説明が不十分なところがあるようです。ご不明な点がないよう、作成の際には保護者とその目的を共有し、定期的なモニタリングを行なっていきます。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	4			3		保育所等訪問支援の実施に際しては、学校と情報共有を密に行っておりますが、その情報が十分に保護者にお伝えできていないようです。今後ご不明な点がないようにHUGでの実施報告のほか、定期的にご連絡、ご説明していくとともに、必要に応じ保護者と学校を交えた担当者会議の開催を推進して
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3			4		保育所等訪問支援計画について、具体的な支援が十分に設定されていない、とのご指摘、ありがとうございます。計画を見直し、支援のポイントが明らかになるような計画を策定するよう心がけていきます。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4			3		保育所等訪問支援の実施についてご説明が不十分なところがあるようです。ご不明な点がないよう、定期的にご連絡、ご説明していきます。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	4			3		保育所等訪問支援の実施については、事前調整の段階からまず学校のご都合を確認し、ご指定の時間に授業の妨げにならないような形で訪問させていただいています。実施状況の説明が不十分なためにこのようなご心配をおかけしているかと思えますので、今後報告内容について検討いたします。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	1				支援開始の際には事業の内容、利用者負担についてご説明していますが、今後もご理解いただけるように丁寧にお伝えしていきます。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4			3		保育所等訪問支援計画についてのご説明が不十分なようです。今後は具体的にどんな支援を行うかも含めて丁寧に説明していきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2			5		親の会主催の研修会などのお知らせはしていますが、事業所主催での勉強会などはまだできておりません。次年度はどういう形で開催できるかを検討していきます。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていますか。	7					HUGで支援の状況をお伝えするとともに、必要時にはLINEや電話、面談などで保護者との情報共有を行っています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6			1		定期的なモニタリング面談で、保護者と利用児の様子について情報共有し、子育ての相談などの支援をしています。

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7				ありがとうございます。この評価はとても嬉しいです。これからも保護者と一緒に利用児の育ちを支援していきたいと思います。	
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6			1	ご相談やご心配事がある時は、LINEや電話、面談などでお話を伺います。窓口は開いておりますので、何かありましたらいつでもご連絡いただければと思います。	
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	1			ご相談やご心配事がある時は、LINEや電話、面談などでお話を伺います。窓口は開いておりますので、何かありましたらいつでもご連絡いただければと思います。ご希望やご連絡のしなさなどの苦情などもお教えいただけると、ありがたいです。	
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	6				1	学校とは支援の前、支援後に情報を共有しながら適切な支援の方法について話し合いを行なっています。実施状況の説明が不十分なためにこのようなご心配をおかけしているかと思っておりますので、今後報告内容について検討いたします。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4				3	保育所等訪問支援の実施については、事前調整、現場でのお話、支援後のフィードバックを行い、学校と情報を共有しながら学校での適切な支援の方法について話し合いをしています。実施状況の説明が不十分なためにこのようなご心配をおかけしているかと思っておりますので、今後報告内容について検討いたします。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	5				2	HUGで実施の様子をお知らせし、また保護者面談（電話も含む）でご報告させていただいていますが、不十分なところがないよう、今後も気をつけて行きます。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6				1	ジョイレーのHPで、事業内容とともに自己評価の結果も公表されます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6				1	個人情報の取扱については繰り返し研修を行い、また就業規則によってスタッフ一人ひとりが退職後も外部に漏らすことがないようにしています。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3				4	緊急時の対応について訪問先施設との連携はまだ十分行うことができていません。次年度検討していきます。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	1			1	安全対策マニュアル等を学校と共有したり、はできていないので、次年度検討していきます。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	5				2	中学生にとっては不本意と感じる時もあるようですが、少しずつ必要性について説明していきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	7					ありがとうございます。やっと今年度訪問支援をスタートすることができました。次年度はこれらのご意見を踏まえながらより効果的に満足いただける支援を展開していきます。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 2026年3月31日

ジョイール石垣 (第2単位)

利用児童数 11 回収数1

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1			事前の説明もありがたかったし、その後も不明なことを質問すると丁寧に説明して下さった。	ご意見ありがとうございます。引き続き効果的な情報共有をさせていただきたいと思います。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1			学校職員とは異なる視点で当該生徒の接し方を教えて下さった。	学校の先生方と、訪問支援員が互いの見地から意見を交換し、支援の方法を検討できることがとてもありがたいです。来年度も引き続きよろしく願いいたします。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1			上記1に同じ。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1			トラブルの多い休み時間に観察をしていただくことで、未然防止につながったと思う。	来年度は先生方と相談させていただき、直接支援についても行えれば、と考えています。
5	事業所からの支援に満足していますか。	1			関わり方を学ぶことができ、どう接したらいいか、考える時の選択肢が増えて良かった。	今後も先生方とご相談しながら、支援の方法を一緒に検討させて頂ければ、と思います。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
週1でも、定期的な訪問支援があると助かります。					支援の回数については、今後ご相談していきたいです。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年3月31日				
ジョイーレ石垣 (第2単位)						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営・体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1			訪問支援の様子についてご説明が不十分などところがあるようです。今後は定期的なご連絡、ご説明をしていきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		1		今年度、やっと訪問支援員1名が訪問できるようになりました。次年度は人員を確保してさらに手厚い支援が行えるように体制を整えていきたいと思っています。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1		業務改善のための意見交換、ミーティングなどで、問題解決や目標達成のための方法の検討、実施しての振り返りを行っています。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		1		今回の評価を元に、更に良い支援が行えるよう業務改善していきます。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1			毎月1on1の機会が設けられ、同じ事業所の中でも、千葉の事業所スタッフや統括責任者とも意見交換ができアドバイスを貰うことができています。また定例ミーティングだけでなく、必要時に必要なメンバーでのミーティングを組むこともでき、意見交換の機会をつくることへの心理的ハードルが低い会社だと思います。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1		第三者機関による評価は受けていません。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1		法定研修だけでなく、社員のスキルアップにつながる研修(オンライン)が多数組まれており、日々自己研鑽に努めています。	
適切な支援の	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	1			保護者面談や保育所等訪問支援などによる園での様子、ジョイーレでの療育などの様子などの情報を集め、適切なアセスメントを行い、子どもと保護者のニーズや課題を反映させた実効性のある計画の策定を心がけていきます。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1		保護者の希望、子どもの困り感、学校の要望を踏まえ、訪問支援員と相談しながら子どもの最善の利益を考えて検討することを心がけています	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1			訪問支援に対する訪問先施設、担任の意向をお聞きし、その事も踏まえて保育所等訪問支援計画を立案し、円滑な連携ができるようにしていきます。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1		HUGの記録は個別支援計画に沿った枠組みになっており、日々計画を意識して支援を行い、保護者へ報告しています。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		1		標準化されたアセスメントツールの利用については今後検討していきます。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	1		利用児それぞれの支援目標に沿い、保育所等訪問支援ガイドラインに定められた「様子観察」、「行動支援」、「環境整備の提案」、「教員への専門的アドバイス」を踏まえて、計画の立案を心がけています。	

提供	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1		HUGの記録は個別支援計画に沿った枠組みになっており、日々計画を意識して支援を行い、保護者へ報告しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		1	毎日の支援の確認は主に社内チャット(LW)で行い、送迎や見守りなどの分担は共通のスプレッドシートで各自確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		1	支援終了後の打ち合わせはミーティングでは行っていませんが、HUGの記録を互いに確認し、連絡事項は社内チャットで共有しています。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	1		保育所等訪問支援を実施する際には訪問先の理念や支援手法を尊重しつつ、利用児一人一人に合わせた支援方法や工夫についてお伝えするよう心がけています。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋がっているか。	1		HUGの記録は支援終了後できるだけ早急に書き込み、支援の検証、改善に繋がっています。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1		半年に一度、また状況に変化があった時には保護者や支援チームにモニタリングを行い、計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1		できるだけ状況をよく理解している支援スタッフが発言と一緒に参加するようにしています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		1		相互理解が足りず、十分な連携は取れていない
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1			4月以降、支援について学校との連携が図れるように支援会議の開催の必要性を保護者にお伝えしています。ご協力をよろしくお願い致します。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1		オンラインなどでさまざまな研修の機会が与えられている	
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	1		機会があれば参加している	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	1		HUGで今日の訪問の様子を、ご報告しています。また必要時電話やLINEで具体的な内容をお伝えすることも行っています。	
26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1		八重山地区自閉症児の親の会「ちむほっと」定例会のお知らせなどを全保護者に送っています。その中でセルフプランの研修やペアトレについても情報提供しています。		
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		1	ご利用スケジュール、プログラム、利用者負担額については、初回面談の際にご不明な点がないように説明しています。また面談後もHUGやLINEWORKSなども利用しながら、疑問点にお答えして対応しています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1		初回訪問の前に、事業の趣旨、訪問支援の目的、担当者などについてご説明し、訪問先施設のご理解を得るようにしています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1		定期的な面談や都度都度のご連絡、ご相談等で保護者(こども)の意向を確認し、支援計画に反映させるようにしています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1		個別支援計画はHUG上で確認、同意を頂いています。また新規作成時やモニタリング面談で意向を確認し、説明を行っています。	

保護者等への説明等	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1		面談やLINE、電話などでご相談に対応しています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1			八重山地区自閉症児の親の会「ちむほっと」の定例会のお知らせを全保護者にLINEで送り、交流を望む保護者に情報提供しています。きょうだい児の交流等については今後検討していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1		児発管またはより子どもに近いスタッフがお話しを聞くようにし、必要時には子どもや保護者の同意を得て、学校、子ども家庭課、基幹相談支援センターなども連携して問題解決に向かうようにしています。進捗や結果は保護者にLINEなどで共有しています。また子どもにも必要に応じ説明を行っています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1		ジョイレーのHPやYoutubeなどで事業所の活動の様子をお知らせしています。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1		個人情報の取扱いについては繰り返し研修を行い、また就業規則によってスタッフ一人ひとりが退職後も外部に漏らすことがないようにしています。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1			利用児各々の特性に応じ、サインやカードなども利用して伝わりやすい方法を工夫しています。保護者へもより伝わりやすい方法を工夫していきたいと思っています。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1		訪問先施設からのご相談には、担当訪問支援員や児発管が対応し、必要な助言や支援を行っています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1		訪問後には訪問先の施設とのフィードバックを行なっています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1		HUGで今日の訪問の様子を、ご報告しています。また必要時電話やLINEで具体的な内容をお伝えすることも行っています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1		個人情報の取扱いについては繰り返し研修を行い、また就業規則によってスタッフ一人ひとりが退職後も外部に漏らすことがないようにしています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1		訪問先施設からのご相談には、担当訪問支援員や児発管が対応し、必要な助言や支援を行っています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1			マニュアルは作成し、定期的な訓練の実施を計画していますが、保護者への周知は殆どできていません。今後周知の方法について検討していきます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1			安全対策マニュアルに基づいて支援を行うとともに、必要な研修や訓練も適宜行っています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1		ヒヤリハット事案については、朝回での情報共有、ヒヤリハットシートでの全事業所との情報交換、児発管ミーティングでの検討と注意喚起を行い、再発の防止に努めています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1		オンラインによる研修など、機会があれば積極的な受講を行なっています。	

	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		1	現在まで身体拘束が必要な利用児がいなかったが、虐待防止マニュアルなどに基づき、必要な事案があった時には切迫性、非代替性、一時的のルールを守り、保護者や子どもに十分に説明して行っています。
--	----	--	--	---	---